

令和7年7月16日

自由部門応募チーム 各位

第36回全国高等専門学校
プログラミングコンテスト
実行委員長

自由部門の講評に関して（お詫びとご報告）

この度は、第36回全国高等専門学校プログラミングコンテストの自由部門に応募いただきありがとうございます。

6/28（土）に予選審査を行い、7月上旬に全応募チームの皆様へ、主管校より審査結果と審査委員による講評をお送りいたしました。その後、一部の講評において「自由部門の応募作品に対し、課題部門向けのコメントが記載されている」とのご指摘をいただきました。

実行委員と審査委員会にて調査を行った結果、審査委員による講評入力において、定型文コメントの選択ミスや解釈ミスがあったことが判明いたしました。ただし、これらは講評文の記述に関するものであり、審査結果や評価そのものに影響はないことを確認しています。

原因としては、審査 Web システム上で課題部門・自由部門の講評コメントが共通の選択肢となっていたこと、ならびに講評の定型文の確認作業が不十分であったことが考えられます。今後はこのような混乱が生じないよう、審査 Web システムの見直しやチェック体制の強化など、再発防止に向けた改善を進めてまいります。

該当のチームの皆様には混乱を招いてしまったことを深くお詫び申し上げますとともに、引き続き公平・公正な審査の実施に努めてまいります。

以上

※審査は Web アプリケーションによって行われており、審査委員はブラウザを使って評価値や講評を入力しています。また、多数の作品の審査を行う作業のため、よく使われるコメントは「定型文」として準備しており、審査委員が講評に適した定型文を選択できるシステムとなっています。